

支部社協通信

第16号
平成23年9月1日発行
西条市社会福祉協議会
地域福祉課

支部社協紹介

今号では、西条市の北西部に位置し、多くの山間部を有する庄内支部を紹介します。

当地域は、ふたつの山間部地域①本谷温泉付近の河之内 ②河之内の山際から朝倉ダム付近に広がる黒谷（くろだに）と ③大明神川沿いの地域（大野等）から周越道付近に広がる地域（旦之上（だんのうえ）等）の3地域に大分されますが、黒谷地域は、今治市（上朝倉）に近い地理的条件もあり、昔から住民の生活圏のほとんどが今治市です。

また、河之内にある本谷温泉は、道後・鈍川温泉とともに「伊予の三湯」と呼ばれる歴史ある温泉で、平成7年に本館をリニューアル、近くに本谷公園を整備し、さらに、平成13年に別館（宿泊施設や露天風呂）を整備する等、複合施設（本谷温泉館）として、多くの利用者が訪れています。

しかし、かつての地場産業であった林業は衰退してしまい、また、農業も休耕農地が増え、後継者不足も懸念される等、若者離れが進んでいる現状です。

庄内支部

支部長 政岡 博



地域の皆様には「地域福祉推進活動」に多大なるご理解・ご協力をいただき、大変有難い限りです。

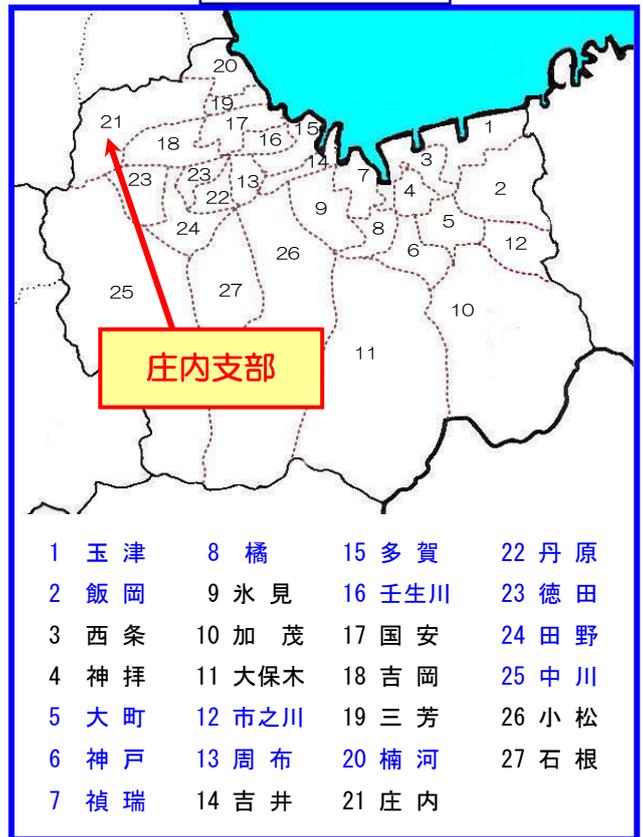
しかしながら、少子社会を背景に、庄内幼稚園は「すいよう幼稚園（三芳）」に統合され、また、庄内小学校の全校児童数も減少している等、厳しい現状です。

そのため、当支部では①地域福祉（文化祭等）②高齢者福祉（ふれあい事業等）③児童家庭福祉（夏祭り等）の3事業を軸に、伝承行事も含めた地域福祉活動を推進し、地域退勢の立て直しを図っています。

地域を見守る「子ども安全パトロール隊」や「自主防災組織結成」等、住民主体の社会資源の整備も進んでおり、支部社協も各関係福祉団体等との連携強化を図り、更なる活動を展開したいと思います。

また、昭和30年に瀬戸内海で168名の犠牲者（修学旅行中の庄内小学校関係の犠牲者30名）を出した「紫雲丸（しうんまる）事故」のみたまの塔には、関係者や小学生が中心となり献花を続け、小学校では「命について考える集会」を実施する等、悲しい事故の記憶を後世に伝えています。

27支部位置図



庄内地区はこんなところ

■基本情報（平成23年3月末現在）

人口 : 2,197人
世帯数 : 895世帯
自治会数 : 7



施設等 : 庄内保育所、庄内小学校、河北中学校、本谷温泉館（公園、キャンプ場等）、亀天荘、畜産研究センター（養鶏研究所）、一般廃棄物処理場 等

■地場産業

農業（稲作・畑作）、庄内米、酒造 等

■名所等

実報寺、円満寺、十地院、醫王院（いおういん）、宮内神社、周越ふれあい市、椎の木古墳 大明神川 等

■伝統・行事等

秋祭り、本谷温泉祭り、庄内夏祭り、文化祭、とうどうさん、おいのこさん 等





自慢の支部事業

今回は、交流を通じ、独居高齢者のニーズ調査や社会参加の促進を目的とする「独居高齢者宅訪問事業」を紹介します。独居高齢者の中には、他人に迷惑をかけまいと遠慮がちで、家に閉じこもりがちなの人もいます。そのような中、高齢者の尊厳を守りながら①婦人会②民生児童委員③小学生と先生が、それぞれ当該世帯を訪問し、交流を深めていました。

しかし、小学校の児童数の減少等が起因し、平成23年度から①婦人会②民生児童委員による訪問・交流③小学生の年賀状訪問という形で、本事業を実施しています。

- 1 事業名 独居高齢者宅訪問事業
- 2 目的 独居高齢者世帯との交流を通じ、ニーズ調査を行う
- 3 対象者 独居高齢者世帯 等
- 4 実施内容 ①婦人会による訪問②民生児童委員による訪問③小学生の年賀状訪問
- 5 実施場所 該当世帯

家に閉じこもらず、他人と接することは、適度な刺激となり、心身ともにリフレッシュできる大切なことだと思います。そのため、交流を通じた高齢者の社会参加の促進となるよう、本事業を実施しています。

以前は、小学生数名のグループが、9月頃に手紙等を持って、当該世帯を訪問していました。高齢者から「子どもの健やかな笑顔と元気をもらい、その日は久しぶりに輝いた一日でした」等の感想をいただき、また、顔を合わせたことで、通学時のあいさつだけでなく、会話をする機会も増えたようです。

残念ながら、今年度から小学生の訪問は児童数の減少等により休止となりましたが「独居高齢者宅訪問」に替わる事業として、小学4年生～6年生が中心となり、防火啓発を兼ねた「年賀状づくり」等を進め、独居高齢者との交流を深めています。

年明けには、婦人会が手作りの「干支の額ぶち」等を持参し、さらに、2月頃には、民生児童委員が中心となり、事前の打合せ会の時に、みんなでプレゼントを作り、訪問します。

婦人会や民生児童委員等の地道な活動が、独居高齢者の生活を潤し、悩みごとや隠れた生活ニーズの発見・解決につながります。

地域の世話人さんと顔を合わせて話すことで、高齢者は安心感からか、いろんな話をするそうです。

「安心して、地域で元気に暮らす」ということは、人が支えあい「自分は決してひとりではない」という安心感のもと、心身とも健康な日常生活を送ることかもしれません。

～ 夏休みどきどきこうざ ～

庄内地区では、公民館主催で児童家庭福祉事業の一環として「昔の遊び」をテーマに、世代交流を図る講座を毎年実施しています。

社協も本講座を支援していますが、参加者は懐かしくもあり、新しい遊びに夢中のようにです。

- 1 事業名 夏休みどきどきこうざ
- 2 内容 水鉄砲、紙細工づくり、お手玉、あやとり 等
- 3 参加者 小学生、老人クラブ会員（世話人） 等
- 4 主催 庄内公民館

～ 「水鉄砲」をつくろう ～



社協からのお知らせ

～ 夏休みボランティアスクールについて ～

福祉教育推進事業の一環として、ボランティアに講師をお願いし、恒例の「夏休みボランティアスクール」を開催しました。福祉やボランティアについての体験学習を行い、参加者にとって、福祉について考えるいい機会となったようです。

関係者にお礼を申し上げるとともに「ボランティアの輪」がさらにひろがることを願います。

- 1 参加者 小学4年生～中学3年生（97名）
- 2 実施場所 各福祉センター（丹原地区は丹原公民館）
- 3 実施期間 夏休み中の4日間（9:00～15:30）
- 4 内容 障害者との交流、手話、点字、車イス、朗読、要約筆記、災害についての学習、手話コーラス発表 等

～ ふれ愛シネマ（子ども向けのアニメ） ～

集会所や公民館等で「ふれ愛シネマ」を実施していますが、「孫（子ども）と一緒に映画をみたい」という参加者の多くの意見を受け「子ども向けのアニメ上映」を始めました。

子どもの親世代が、幼少期に楽しんだなつかしのアニメや映画を準備していますので、支部社協事業にもご活用ください。

タイトル	制作年	上映時間
①アルプスの少女ハイジ	1979年	107分
②ドラエモン のび太の恐竜	1980年	94分
③ドラゴンボール 神龍の伝説	1986年	50分
④アンパンマン キラキラ星の涙	1989年	75分
⑤となりのトトロ	1988年	86分